

はじめに

生命の新陳代謝には、腎臓による血液浄化が不可欠な様に、設備の安全性には「排気と排水」の点検と保全(浄化)が不可欠だ。この事は、原子力発電設備の安全管理の最重要課題が「排気と排水」にある事、更に換気不良による、200 余名の一酸化炭素中毒死の大惨事(湯沸器死亡事故)をみる迄もなく、換気不良による排気不全が、如何に致命的傷害を招来するか、その戦慄すべき危険性と重要性は、いくら強調しても、しすぎる事はない!!

従って、弊社は長年の特殊技能から会得した独創的なソフト力・メンテ力を通し、機器阻礙因子の「油塵と排気」、「悪臭と汚損」等の点検保全(清掃浄化)の徹底により、見えざる領域迄も「安全性第一」に挑戦していきたい。そしてその基盤の上に、「CO²の抜本的削減」によるエネルギー節減に寄与し、「快適性・環境性・経済性」の確立に更に邁進していきたい。

私共が注力し、独創的技能により差別化している具体例は、排気ダクト(潜在的火薬庫)に火災誘発因子(オイルミスト)を流入させない超高性能「グリスフィルター」(除去率 99.72%: 静圧 127Pa/1.1m/sec/終期圧損)を基軸に、独自の安全保証制を完備している事にある。即ち、定期点検により排気ダクトにオイルミスト等の火災誘発因子が蓄積した場合、無償でダクト清掃をし、安全性を再生し、防災性を保証する安全第一の「ダクト清掃無償制度」だ。

従って 90 年の創立以来、排気ファンと排気ダクトに起因する火災誘発因子根絶の、高度な「安全性・防災性・環境性」の保証制度を確立し、給排気の「Almighty doctor of Facilities」に挑戦している。その結果、厨房ダクト火災は毎年平均、東京消防庁管内だけで年間 150 件前後も発生しているにも拘らず、弊社保全契約ビルは、安全防災性を 100%維持している Only one company だ。従って更に一意専心し、見えざる潜在的危険因子を除去するハイスキルを、不断に鍛練改善し、設備の背奥の裏に潜在する、隠れた危険因子、更に汚損劣化と消耗毀損の異分子を保全する「環境再生の循環型静脈産業」の一翼を担していきたい。

就中、Maker's innovation として、より卓越した厨房環境の実現のために、換気概念を根本的に創造革新し、余剰なき最少法定排気量のみで良好な「換気性・環境性・省エネ性」を実現し、建物自体の「給排風気・ダクト・ファン・ポンプ等」の設備費(IC)、「エネルギー・CO²」の経常費(RC)を抜本的に削減する革新的 VE(Value Engineering)を確立している。

即ち CO²削減は地球規模の全人類的課題であるにも拘らず、現行の Kitchen は過剰な熱量の海と化し、止めどなき余剰エネルギーを宿命づけられている。従って、従来必要風量の 30%OFF で、従来型能力を遥かに凌駕し、然も様々の付加価値と傑出した換気力を具有する、超高効率排気フード(DRV)を創出した。この傑出した DRV により「CO²最小化」の低炭素社会(LCS:Low Carbon Society)の要請に些少でも貢献していきたいと念願している。